

学籍番号	氏 名	担 当 教 員	テ ー マ	
M23-0078D	丸山 陽介	大曾根 先生	承認印	大曾根ゼミナール 会計支援システムの開発

1. 研究目的

私は大曾根ゼミナールに所属してから会計係を任された。会計係はゼミ費の収支の記録、ゼミ費納入状況の把握、決算書や予算書の作成など、込み入った計算を必要とする仕事がたくさんある。そのため、会計の仕事は、とても時間がかかってしまう。そこで、会計係のために、会計の仕事を支援するシステムを制作したいと考えた。

2. システム概要

本システムは、ゼミ費の管理、SA代納入状況の把握、決算書や予算書の作成ができるシステムである。そのシステム概要を図1に示す。

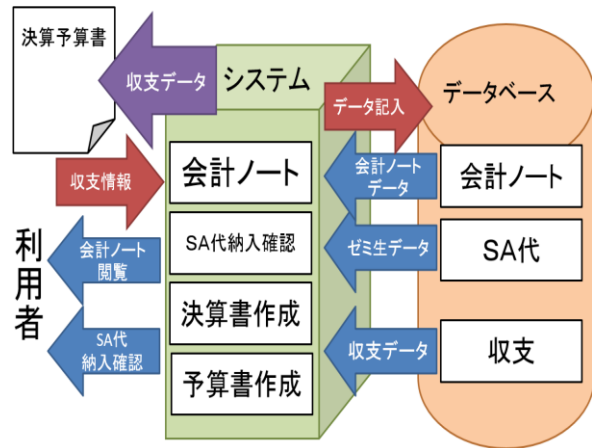


図1 システム概要図

(1) 会計ノート作成機能

ゼミ費の収支を記録する機能である。ゼミ費に変動がある毎に記録する。会計ノートは Excel のシートに作成する。

(2) SA代納入確認機能

SA代を納入したゼミ生を一目で確認できる機能である。そのシートを図2に示す。納入したゼミ生の該当月に「○」を表示することで、一目で確認できるようにした。

名前	年度	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
中尾	2014	○	○	○	○	○	○	○	○	○
仲林	2014	○	○	○	○	○	○	○	○	○
渡邊	2014	○	○	○	○	○	○	○	○	○
田中マ	2014	○	○	○	○	○	○	○	○	○
角本	2014	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岩崎	2014	○	○	○	○	○	○	○	○	○
木村	2014	○	○	○	○	○	○	○	○	○
田中里	2014	○	○	○	○	○	○	○	○	○
宮川	2014	○	○	○	○	○	○	○	○	○

図2 SA代納入状況シート

(3) 決算書作成機能

会計ノートに書かれたデータを利用して年度毎の決算書を作成する機能である。

(4) 予算書作成機能

来年度のゼミ生人数や、今年度の決算の情報を使い、来年度の予算書を作成する機能である。その予算書シートを図3に示す。

	今年度	来年度
	収入	収入
	2014年度決算	2015年度予算
SA代3年	¥0	¥450,000
昨年度繰越	¥113,350	¥89,500
その他収入	¥0	¥0
収入合計	¥113,350	¥539,500
	支出	支出
プロジェクトX	¥2,930	¥55,283
夏合宿	¥19,920	¥375,849
春勉強会	¥1,000	¥18,868
支出合計	¥23,850	¥450,000
次年度繰越	¥89,500	¥89,500

図3 予算書シート

3. 研究結果

(1) 本システムを使って会計ノートを作成できるようになり、手書きより見やすい会計ノートにすることができた。

(2) 会計ノートの情報を利用して、SA代納入状況の確認や、決算書や予算書の自動作成ができるようになった。

4. 残された課題

(1) ゼミ費納入の際、納付額を部分的にしか払えない場合の処理ができないので、一部だけを払ったら「△」が付くように改良したい。

(2) 決算書作成時、同年度の重複データがあるとき、誤った計算をしてしまうので、重複データを認識して処理できるように改良したい。

キーワード	会計支援、ゼミナール、自動作成、計算処理、データ検索				
種類	システム開発	手法	会計支援	データ源	ゼミ会計ノート
使用ハード	パソコン	使用ソフト	Excel VBA	使用言語	Visual Basic

